資料4

令和7年度　重点施策について

①地域コミュニティ組織（自治会・地域振興協議会）の支援

自治会　自治会
自治会　自治会
自治会　自治会
自治会　自治会

地域振興協議会
【標準的な形】
・総務部会
・青少年部会
・人権福祉部会
・体育部会
・環境部会

1．現状維持・負担軽減
2．部会の統合・役員削減
3．抜本的な見直し

【現状】・R7年度運営体制の見直しが各地振協で進み、R8年度から変更される
・構成団体の協力がより得られなくなり、実行委員会制への移行が増加
・属人制が高まり、新たな担い手づくりが必要となっている

【取り組み】
- 担い手づくり
- 情報発信・共有
- 推進体制

・地振協の運営体制の見直し支援
⇒　連絡会にて情報交換、相談対応
・市からの自治会等への更なる依頼事項の削減
・市民アンケートの実施

【課題】・ボランティアや新たな担い手とのつながりづくりの支援

②中間支援組織の機能強化

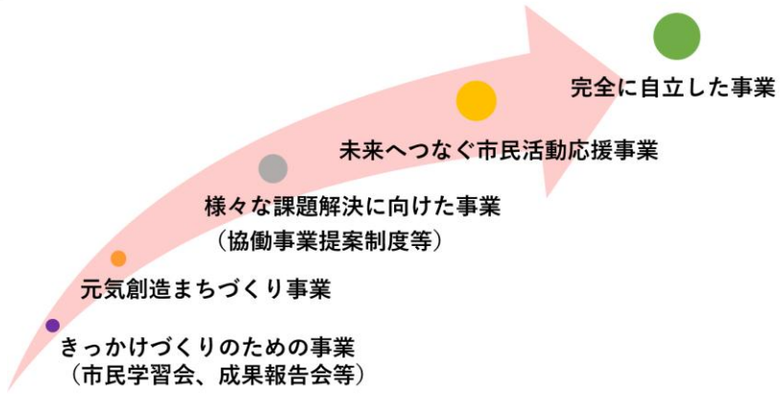
【現状】・地振協事務局として機能強化の必要性
・ボラセンが3月1日より栗東駅前に移転
・社協の支援制度との連携強化

【取り組み】
- 環境づくり
- 担い手づくり
- 情報発信・共有

・コミセンの中間支援機能の強化
⇒　市民活動団体との連携、HPの作成、研修
・他市の中間支援組織との情報交換
・説明会を社協と連携して実施
⇒　支援制度の集約、情報交換会の実施

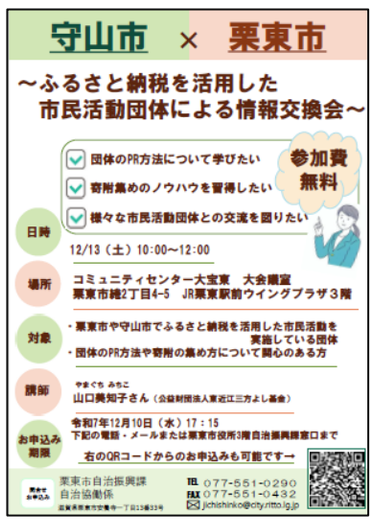
【課題】・コミセン、ボラセンとの情報共有の強化

③支援制度の再整理と支援団体のフォロー



【現状】・制度が必要な人に伝わっていない
・課題や情報を共有して、きっかけづくりの強化
・団体同士のワークショップなどの機会を増加
・みら活登録団体のフォロー講座、情報交換会の実施

【取り組み】
- 環境づくり
- 担い手づくり
- 情報発信・共有

・制度説明会、フォロー講座、
に団体同士の情報交換をプラス
・守山市の登録団体と連携事業の実施
⇒　R8は守山市・草津市と検討
・つながる学習会、つながりカフェの実施
・市民活動団体の活動訪問と情報発信
⇒　支援団体・ボラセンイベントへの
参加、取材、動画作成

【課題】・つながりづくりの制度化　・他市との情報連携
・みら活登録団体の個別対応